



IE 2000 スイッチ デバッグ コマンド

この付録では、スイッチ用に作成または変更された **debug** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立ちます。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。

**注意**

デバッグ出力は CPU プロセスで高プライオリティが割り当てられているため、デバッグ出力を行うとシステムが使用できなくなることがあります。したがって、**debug** コマンドを使用するのは、特定の問題のトラブルシューティング時、またはシスコのテクニカル サポート担当者とともにトラブルシューティングを行う場合に限定してください。**debug** コマンドは、ネットワーク トラフィックが少なく、ユーザも少ないときに使用するのが最良です。デバッグをこのような時間帯に行うと、**debug** コマンド処理のオーバーヘッドの増加によりシステムの使用に影響が及ぶ可能性が少なくなります。

debug authentication

インターフェイスの認証設定のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug authentication** を使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug authentication {all | errors | events | sync | feature [all] [acct] [auth_fail_vlan]
[auth_policy] [autocfg] [critical] [dhcp] [guest_vlan] [mab_pm] [mda] [multi_auth]
[switch_pm] [switch_sync] [vlan_assign] [voice] [webauth] [all | errors | events]}
```

```
no debug authentication {all | errors | events | sync | feature [all] [acct] [auth_fail_vlan]
[auth_policy] [autocfg] [critical] [dhcp] [guest_vlan] [mab_pm] [mda] [multi_auth]
[switch_pm] [switch_sync] [vlan_assign] [voice] [webauth] [all | errors | events]}
```

構文の説明

all	(任意) 認証マネージャ デバッグ メッセージをすべて表示します。
errors	(任意) 認証マネージャ エラー デバッグ メッセージをすべて表示します。
events	(任意) すべての認証マネージャ イベントのデバッグ メッセージ (レジストリおよび各種イベントを含む) を表示します。
sync	(任意) 操作同期認証マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
feature	(任意) 認証マネージャ機能のデバッグ メッセージを表示します。
acct	(任意) 表示認証マネージャ アカウンティング情報を表示します。
auth_fail_vlan	(任意) 制限された VLAN の認証マネージャ エラーを表示します。
auth_policy	(任意) 認証ポリシー メッセージを表示します。
autocfg	(任意) 自動設定認証マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
critical	(任意) アクセス不能な認証バイパス メッセージを表示します。 (注) アクセス不能な認証バイパス機能は、クリティカル認証または認証、許可、アカウンティング (AAA) 失敗ポリシーとも呼ばれています。
dhcp	(任意) DHCP ダイナミック アドレス対応インターフェイスでの認証マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
guest_vlan	(任意) ゲスト VLAN 認証マネージャ メッセージを表示します。
mab_pm	(任意) MAC 認証マネージャ バイパス認証デバッグ メッセージを表示します。
mda	(任意) 表示マルチドメイン認証マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
multi_auth	(任意) マルチ認証マネージャ デバッグ認証メッセージを表示します。
switch_pm	(任意) スイッチ ポート マネージャ メッセージを表示します。
switch_sync	(任意) スイッチ、認証サーバ、および接続装置の間の同期メッセージを表示します。
vlan_assign	(任意) VLAN 割り当てデバッグ メッセージを表示します。
voice	(任意) 音声 VLAN デバッグ メッセージを表示します。
webauth	(任意) Web 認証マネージャ デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

認証デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebbug authentication` コマンドは、`no debug authentication` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>authentication control-direction</code>	ポート モードを単一方向または双方向に設定します。
	<code>authentication event</code>	特定の認証イベントのアクションを設定します。
	<code>authentication fallback</code>	IEEE 802.1x 認証をサポートしないクライアント用のフォールバック方式として Web 認証を使用するようポートを設定します。
	<code>authentication host-mode</code>	ポートで認証マネージャ モードを設定します。
	<code>authentication open</code>	ポートでオープン アクセスをイネーブルまたはディセーブルにします。
	<code>authentication order</code>	ポートで使用する認証方式の順序を設定します。
	<code>authentication periodic</code>	ポートで再認証をイネーブルまたはディセーブルにします。
	<code>authentication port-control</code>	ポートの認証ステータスの手動制御をイネーブルにします。
	<code>authentication priority</code>	ポート プライオリティ リストに認証方式を追加します。
	<code>authentication violation</code>	新しいデバイスがポートに接続するか、ポートに最大数のデバイスが接続した後で、新しいデバイスがポートに接続した場合に発生する違反モードを設定します。
	<code>show authentication</code>	スイッチの認証マネージャ イベントに関する情報を表示します。

debug auto qos

Automatic Quality of Service (auto-QoS) 機能のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug auto qos** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug auto qos

no debug auto qos



(注)

このコマンドを使用できるのは、スイッチが LAN Base イメージを実行している場合だけです。

構文の説明

このコマンドには、キーワードと引数はありません。

デフォルト

auto-QoS デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

auto-QoS がイネーブルのときに自動的に生成される QoS の設定を表示するには、auto-QoS をイネーブルにする前にデバッグをイネーブルにします。特権 EXEC モードで **debug auto qos** コマンドを入力して、デバッグをイネーブルにします。

undebug auto qos コマンドは、**no debug auto qos** コマンドと同じです。

例

次の例では、auto-QoS がイネーブルの場合に自動的に生成される QoS 設定を表示する方法を示します。

```
Switch# debug auto qos
AutoQoS debugging is on
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# interface gigabitethernet1/1
Switch(config-if)# auto qos voip cisco-phone

21:29:41: mls qos map cos-dscp 0 8 16 26 32 46 48 56
21:29:41: mls qos
21:29:42: no mls qos srr-queue input cos-map
21:29:42: no mls qos srr-queue output cos-map
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 1 threshold 3 0
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 1 threshold 2 1
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 2 threshold 1 2
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 2 threshold 2 4 6 7
21:29:43: mls qos srr-queue input cos-map queue 2 threshold 3 3 5
21:29:43: mls qos srr-queue output cos-map queue 1 threshold 3 5
21:29:43: mls qos srr-queue output cos-map queue 2 threshold 3 3 6 7
```

```

21:29:44: mls qos srr-queue output cos-map queue 3 threshold 3 2 4
21:29:44: mls qos srr-queue output cos-map queue 4 threshold 2 1
21:29:44: mls qos srr-queue output cos-map queue 4 threshold 3 0
21:29:44: no mls qos srr-queue input dscp-map
21:29:44: no mls qos srr-queue output dscp-map
21:29:44: mls qos srr-queue input dscp-map queue 1 threshold 2 9 10 11 12 13 14 15
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 1 threshold 3 0 1 2 3 4 5 6 7
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 1 threshold 3 32
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 1 16 17 18 19 20 21 22 23
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 2 33 34 35 36 37 38 39 48
21:29:46: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 2 49 50 51 52 53 54 55 56
21:29:46: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 2 57 58 59 60 61 62 63
21:29:46: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 3 24 25 26 27 28 29 30 31
21:29:47: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 3 40 41 42 43 44 45 46 47
21:29:47: mls qos srr-queue output dscp-map queue 1 threshold 3 40 41 42 43 44 45 46 47
21:29:47: mls qos srr-queue output dscp-map queue 2 threshold 3 24 25 26 27 28 29 30 31
21:29:47: mls qos srr-queue output dscp-map queue 2 threshold 3 48 49 50 51 52 53 54 55
21:29:48: mls qos srr-queue output dscp-map queue 2 threshold 3 56 57 58 59 60 61 62 63
21:29:48: mls qos srr-queue output dscp-map queue 3 threshold 3 16 17 18 19 20 21 22 23
21:29:48: mls qos srr-queue output dscp-map queue 3 threshold 3 32 33 34 35 36 37 38 39
21:29:49: mls qos srr-queue output dscp-map queue 4 threshold 1 8
21:29:49: mls qos srr-queue output dscp-map queue 4 threshold 2 9 10 11 12 13 14 15
21:29:49: mls qos srr-queue output dscp-map queue 4 threshold 3 0 1 2 3 4 5 6 7
21:29:49: no mls qos srr-queue input priority-queue 1
21:29:49: no mls qos srr-queue input priority-queue 2
21:29:50: mls qos srr-queue input bandwidth 90 10
21:29:50: no mls qos srr-queue input buffers
21:29:50: mls qos queue-set output 1 buffers 10 10 26 54
21:29:50: interface GigabitEthernet1/1
21:29:50: mls qos trust device cisco-phone
21:29:50: mls qos trust cos
21:29:50: no queue-set 1
21:29:50: srr-queue bandwidth shape 10 0 0 0
21:29:50: srr-queue bandwidth share 10 10 60 20

```

関連コマンド

コマンド	説明
auto qos voip	QoS ドメイン内で Voice over IP (VoIP) の auto-QoS を設定します。
show auto qos	auto-QoS 機能によって生成された初期設定を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0』を参照してください。

debug backup

Flex Link バックアップ インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug backup** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug backup {all | errors | events | vlan-load-balancing}
```

```
no debug backup {all | errors | events | vlan-load-balancing}
```

構文の説明

all	すべてのバックアップ インターフェイスのデバッグ メッセージを表示します。
errors	バックアップ インターフェイスのエラーまたは例外デバッグ メッセージを表示します。
events	表示バックアップ インターフェイス イベント デバッグ メッセージを表示します。
vlan-load-balancing	バックアップ インターフェイスの VLAN ロード バランシングを表示します。

デフォルト

バックアップ インターフェイス デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg backup コマンドは、**no debug backup** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug cip

Common Industrial Protocol (CIP) サブシステムのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug cip** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug cip {assembly | connection manager | errors | event | file | io | packet | request response |
security | session | socket}
```

```
no debug cip {assembly | connection manager | errors | event | file | io | packet | request response |
security | session | socket}
```

構文の説明

assembly	CIP アセンブリのデバッグ メッセージを表示します。
connection manager	CIP 接続マネージャのデバッグ メッセージを表示します。
errors	CIP エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	CIP イベント デバッグ メッセージを表示します。
file	CIP ファイルのデバッグ メッセージを表示します。
io	CIP 入出力 (I/O) のデバッグ メッセージを表示します。
packet	CIP パケットのデバッグ メッセージを表示します。
request response	CIP 要求応答のデバッグ メッセージを表示します。
security	CIP セキュリティのデバッグ メッセージを表示します。
session	CIP セッションのデバッグ メッセージを表示します。
socket	CIP ソケットのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

CIP デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug cip コマンドは、**no debug cip** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show cip	Common Industrial Protocol (CIP) サブシステムに関する情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug cisp

クライアント情報のデバッグ メッセージ交換およびイベントをイネーブルにするには、**debug cisp** グローバル Configuration Command Signalling Protocol (CIPS) 対応インターフェイスを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug cisp [all | errors | events | packets | sync]

no debug cisp [all | errors | events | packets | sync]

構文の説明

all	(任意) CISP デバッグ メッセージをすべて表示します。
errors	(任意) CISP デバッグ メッセージを表示します。
events	(任意) CISP イベント デバッグ メッセージを表示します。
packets	(任意) CISP パケット デバッグ メッセージを表示します。
sync	(任意) CISP 操作同期デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg cisp コマンドは、**no debug cisp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
cisp enable	Client Information Signalling Protocol (CISP) をイネーブルにします。
dot1x credentials (グローバル コンフィギュレーション) <i>profile</i>	プロファイルをサブリカント スイッチに設定します。
show cisp	指定されたインターフェイスの CISP 情報を表示します。

debug cluster

クラスタ固有イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug cluster** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug cluster {discovery | events | extended | hsrp | http | ip [packet] | members | nat | neighbors
| platform | snmp | vqpxy}
```

```
no debug cluster {discovery | events | extended | hsrp | http | ip [packet] | members | nat |
neighbors | platform | snmp | vqpxy}
```

構文の説明

discovery	クラスタ ディスカバリ デバッグ メッセージを表示します。
events	クラスタ イベント デバッグ メッセージを表示します。
extended	拡張ディスカバリ デバッグ メッセージを表示します。
hsrp	ホットスタンバイ ルータ プロトコル (HSRP) デバッグ メッセージを表示します。
http	ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP) デバッグ メッセージを表示します。
ip packet	IP またはトランスポート パケット デバッグ メッセージを表示します。
members	クラスタ メンバ デバッグ メッセージを表示します。
nat	ネットワーク アドレス変換 (NAT) デバッグ メッセージを表示します。
neighbors	クラスタ ネイバー デバッグ メッセージを表示します。
platform	プラットフォーム固有のクラスタ デバッグ メッセージを表示します。
snmp	簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) デバッグ メッセージを表示します。
vqpxy	VLAN Query Protocol (VQP) プロキシ デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、クラスタ コマンド スイッチ上でだけ使用できます。
undebug cluster コマンドは、**no debug cluster** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show cluster	スイッチが属するクラスタのステータスおよびサマリーを表示します。
show cluster candidates	コマンド スイッチ上で入力された場合に候補スイッチのリストを表示します。
show cluster members	コマンド スイッチ上で実行された場合にクラスタ メンバに関する情報を表示します。

debug dot1x

IEEE 802.1x 認証機能のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug dot1x** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug dot1x {all | errors | events | feature | packets | registry | state-machine}
```

```
no debug dot1x {all | errors | events | feature | packets | registry | state-machine}
```

構文の説明

all	すべての IEEE 802.1x 認証デバッグ メッセージを表示します。
errors	IEEE 802.1x エラー デバッグ メッセージを表示します。
events	IEEE 802.1x イベント デバッグ メッセージを表示します。
feature	IEEE 802.1x 機能のデバッグ メッセージを表示します。
packets	IEEE 802.1x パケット デバッグ メッセージを表示します。
registry	IEEE 802.1x レジストリ呼び出しのデバッグ メッセージを表示します。
state-machine	ステートマシン関連イベントのデバッグ メッセージをデバッグします。



(注)

redundancy キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring には表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg dot1x コマンドは、**no debug dot1x** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show dot1x	スイッチまたは指定されたポートの IEEE 802.1x 統計情報、管理ステータス、および動作ステータスを表示します。

debug dtp

ダイナミック トランッキング プロトコル (DTP) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug dtp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug dtp {aggregation | all | decision | events | oserrs | packets | queue | states | timers}
```

```
no debug dtp {aggregation | all | decision | events | oserrs | packets | queue | states | timers}
```

構文の説明

aggregation	DTP ユーザ メッセージ アグリゲーション デバッグ メッセージを表示します。
all	すべての DTP デバッグ メッセージを表示します。
decision	DTP 決定テーブル デバッグ メッセージを表示します。
events	DTP イベント デバッグ メッセージを表示します。
oserrs	DTP オペレーティング システム関連エラー デバッグ メッセージを表示します。
packets	DTP パケット処理 デバッグ メッセージを表示します。
queue	DTP パケット キューイング デバッグ メッセージを表示します。
states	DTP ステート 遷移 デバッグ メッセージを表示します。
timers	DTP タイマー イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug dtp コマンドは、**no debug dtp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show dtp	スイッチまたは指定されたインターフェイスの DTP 情報を表示します。

debug eap

拡張認証プロトコル (EAP) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug eap** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug dot1x {all | authenticator | errors | events | md5 | packets | peer | sm}
```

```
no debug dot1x {all | authenticator | errors | events | md5 | packets | peer | sm}
```

構文の説明

all	すべての EAP デバッグ メッセージを表示します。
authenticator	オーセンティケータ デバッグ メッセージを表示します。
errors	EAP エラー デバッグ メッセージを表示します。
events	EAP イベント デバッグ メッセージを表示します。
md5	EAP-MD5 デバッグ メッセージを表示します。
packets	EAP パケットのデバッグ メッセージを表示します。
peer	EAP ピア デバッグ メッセージを表示します。
sm	EAP ステート マシン関連イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug dot1x コマンドは、**no debug dot1x** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show eap	スイッチまたは指定されたポートの EAP のレジストレーション情報およびセッション情報を表示します。

debug etherchannel

EtherChannel/PAgP シムのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug etherchannel** コマンドを使用します。このシムは、ポート集約プロトコル (PAgP) ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のインターフェイスとなるソフトウェア モジュールです。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug etherchannel [**all** | **detail** | **error** | **event** | **idb**]

no debug etherchannel [**all** | **detail** | **error** | **event** | **idb**]

構文の説明

all	(任意) EtherChannel デバッグ メッセージをすべて表示します。
detail	(任意) 詳細な EtherChannel デバッグ メッセージを表示します。
error	(任意) EtherChannel エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	(任意) 主な EtherChannel イベント メッセージをデバッグします。
idb	(任意) PAgP インターフェイス記述子ブロック デバッグ メッセージを表示します。



(注) **linecard** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

キーワードを指定しない場合は、すべてのデバッグ メッセージが表示されます。
undebug etherchannel コマンドは、**no debug etherchannel** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show etherchannel	チャンネルの EtherChannel 情報を表示します。

debug interface

インターフェイス関連のアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug interface** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug interface {interface-id | null interface-number | port-channel port-channel-number |
                vlan vlan-id}
```

```
no debug interface {interface-id | null interface-number | port-channel port-channel-number |
                   vlan vlan-id}
```

構文の説明

<i>interface-id</i>	タイプ スイッチ番号/モジュール番号/ポート（例： gigabitethernet 0/2 ）によって識別される、指定された物理ポートのデバッグ メッセージをデバッグします。
null interface-number	スル インターフェイスのデバッグ メッセージを表示します。 <i>interface-number</i> は常に 0 です。
port-channel <i>port-channel-number</i>	指定された EtherChannel ポートチャネル インターフェイスのデバッグ メッセージを表示します。 <i>port-channel-number</i> の範囲は 1 ~ 6 です。
vlan vlan-id	指定した VLAN のデバッグ メッセージを表示します。指定できる <i>vlan id</i> の範囲は 1 ~ 4094 です。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

キーワードを指定しない場合は、すべてのデバッグ メッセージが表示されます。

undebug interface コマンドは、**no debug interface** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show etherchannel	チャネルの EtherChannel 情報を表示します。

debug ip dhcp snooping

DHCP スヌーピングのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug ip dhcp snooping** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug ip dhcp snooping {mac-address | agent | event | packet}
```

```
no debug ip dhcp snooping {mac-address | agent | event | packet}
```

構文の説明

mac-address	指定された MAC アドレスを持つ DHCP パケットのデバッグ メッセージを表示します。
agent	DHCP スヌーピング エージェントのデバッグ メッセージを表示します。
event	DHCP スヌーピング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
packet	DHCP スヌーピングのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip dhcp snooping コマンドは、**no debug ip dhcp snooping** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug ip verify source packet

IP ソース ガードのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug ip verify source packet** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip verify source packet

no debug ip verify source packet

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip verify source packet コマンドは、**no debug ip verify source packet** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug ip igmp filter

インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) フィルタ イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug ip igmp filter** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip igmp filter

no debug ip igmp filter

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip igmp filter コマンドは、**no debug ip igmp filter** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug ip igmp max-groups

インターネットグループ管理プロトコル (IGMP) の最大のグループ イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug ip igmp max-groups** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip igmp max-groups

no debug ip igmp max-groups

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip igmp max-groups コマンドは、**no debug ip igmp max-groups** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug ip igmp snooping

インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピング アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug igmp snooping** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug ip igmp snooping [group | management | querier | router | timer]
```

```
no debug ip igmp snooping [group | management | querier | router | timer]
```

構文の説明

group	(任意) IGMP スヌーピング グループ アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
management	(任意) IGMP スヌーピング管理アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
querier	(任意) IGMP スヌーピング クェリア デバッグ メッセージを表示します。
router	(任意) IGMP スヌーピング ルータ アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
timer	(任意) IGMP スヌーピング タイマー イベントのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug ip igmp snooping コマンドは、**no debug ip igmp snooping** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug platform ip igmp snooping	プラットフォームに依存する IGMP スヌーピング アクティビティに関する情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0』を参照してください。

debug l2nat

設定を適用する際にリアルタイムでレイヤ 2 NAT の設定の詳細を表示するには、EXEC モードで **debug l2nat** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を入力します。

```
debug l2nat { all | common | fpga }
```

```
no debug l2nat { all | common | fpga }
```

構文の説明	all	すべてのレイヤ 2 NAT 情報が含まれるデバッグ出力を表示します。
	common	共通のレイヤ 2 NAT コードを含むデバッグ出力を表示します。
	fpga	FPGA ドライバ レイヤ 2 NAT コードを含むデバッグ出力を表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(2)EB	このコマンドが導入されました。

例 次に、すべてのリアルタイムのレイヤ 2 NAT 設定の詳細については、デバッグ出力をイネーブルにする例を示します。

```
Switch# debug l2nat all
```

次に、すべてのリアルタイムのレイヤ 2 NAT 設定の詳細については、デバッグ出力をディセーブルにする例を示します。

```
Switch# no debug l2nat all
```

関連コマンド	コマンド	説明
	l2nat instance	レイヤ 2 NAT インスタンスを作成するか、または特定のレイヤ 2 NAT インスタンスのサブモードを開始します。
	l2nat	選択したインターフェイスの 1 つまたはすべての VLAN にレイヤ 2 NAT インスタンスを適用します。
	show l2nat instance	指定したレイヤ 2 NAT インスタンスの設定の詳細を表示します。
	show l2nat interface	1 つ以上のインターフェイスのレイヤ 2 NAT インスタンスの設定の詳細を表示します。
	show l2nat statistics	すべてのインターフェイスのレイヤ 2 NAT 統計情報を表示します。
	show l2nat statistics interface	指定したインターフェイスのレイヤ 2 NAT 統計情報を表示します。

debug lacp

Link Aggregation Control Protocol (LACP) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug lacp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug lacp [**all** | **event** | **fsm** | **misc** | **packet**]

no debug lacp [**all** | **event** | **fsm** | **misc** | **packet**]

構文の説明

all	(任意) LACP デバッグ メッセージをすべて表示します。
event	(任意) LACP イベント デバッグ メッセージを表示します。
fsm	(任意) LACP 有限ステート マシン デバッグ メッセージを表示します。
misc	(任意) 各種 LACP デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) LACP パケット デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg lacp コマンドは、**no debug lacp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show lacp	LACP チャネル グループ情報を表示します。

debug lldp packets

リンク層検出プロトコル (LLDP) パケットのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug lldp packets** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug lldp packets

no debug lldp packets

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug lldp packets コマンドは、**no debug lldp packets** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug mac-notification

MAC 通知イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug mac-notification** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug mac-notification

no debug mac-notification

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg mac-notification コマンドは、**no debug mac-notification** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show mac address-table notification	すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対する MAC アドレス通知情報を表示します。

debug matm

プラットフォームに依存しない MAC アドレス管理のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug matm** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug matm

no debug matm

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug matm コマンドは、**no debug matm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug platform matm	プラットフォームに依存する MAC アドレス管理に関する情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug matm move update

MAC アドレス テーブル移行更新メッセージ処理のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug matm move update** コマンドを使用します。

debug matm move update

no debug matm move update

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug matm move update コマンドは、**no debug matm move update** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
mac address-table move update {receive transmit}	スイッチに MAC アドレス テーブル移行更新機能を設定します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show mac address-table move update	スイッチに MAC アドレス テーブル移行更新情報を表示します。

debug monitor

スイッチドポートアナライザ（SPAN）機能のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug monitor** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug monitor {all | errors | idb-update | info | list | notifications | platform | requests | snmp}

no debug monitor {all | errors | idb-update | info | list | notifications | platform | requests | snmp}

構文の説明

all	すべての SPAN デバッグ メッセージを表示します。
errors	詳細 SPAN エラー デバッグ メッセージを表示します。
idb-update	SPAN インターフェイス記述ブロック（IDB）更新トレース デバッグ メッセージを表示します。
info	SPAN 情報追跡デバッグ メッセージを表示します。
list	SPAN ポートおよび VLAN リスト追跡デバッグ メッセージを表示します。
notifications	SPAN 通知デバッグ メッセージを表示します。
platform	SPAN プラットフォーム追跡デバッグ メッセージを表示します。
requests	SPAN 要求デバッグ メッセージを表示します。
snmp	SPAN および簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）追跡デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug monitor コマンドは、**no debug monitor** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show monitor	スイッチ上の SPAN および Remote SPAN (RSPAN) セッションについてのすべての情報を表示します。

debug mvrdbg

マルチキャスト VLAN レジストレーション (MVR) のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug mvrdbg** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug mvrdbg {all | events | igmpsn | management | ports}
```

```
no debug mvrdbg {all | events | igmpsn | management | ports}
```

構文の説明

all	すべての MVR アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
events	MVR イベント処理デバッグ メッセージを表示します。
igmpsn	MVR インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピング アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
management	MVR 管理アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
ports	MVR ポート デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg mvrdbg コマンドは、**no debug mvrdbg** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show mvr	現在の MVR 設定を表示します。

debug nmsp

スイッチのネットワーク モビリティ サービス プロトコル (NMSP) のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug nmsp** コマンドを使用します。このコマンドは、スイッチで暗号化ソフトウェア イメージが実行されている場合にだけ利用できます。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug nmsp {all | connection | error | event | packet | rx | tx}
```

```
no debug nmsp
```

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg nmsp コマンドは、**no debug nmsp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show nmsp	NMSP 情報を表示します。

debug nvram

NVRAM アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug nvram** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug nvram

no debug nvram

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug nvram コマンドは、**no debug nvram** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug pagp

ポート集約プロトコル (PAgP) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug pagp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug pagp [**all** | **dual-active** | **event** | **fsm** | **misc** | **packet**]

no debug pagp [**all** | **dual-active** | **event** | **fsm** | **misc** | **packet**]

構文の説明

all	(任意) PAgP デバッグ メッセージをすべて表示します。
dual-active	(任意) デュアル アクティブ検出メッセージを表示します。
event	(任意) PAgP イベント デバッグ メッセージを表示します。
fsm	(任意) PAgP 有限ステート マシン デバッグ メッセージを表示します。
misc	(任意) 各種 PAgP デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) PAgP パケット デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug pagp コマンドは、**no debug pagp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show pagp	PAgP チャネル グループ情報を表示します。

debug platform acl

アクセス コントロール リスト (ACL) マネージャのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform acl** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform acl {all | exit | label | main | racl | vacl | vlmmap | warn}
```

```
no debug platform acl {all | exit | label | main | racl | vacl | vlmmap | warn}
```

構文の説明

all	すべての ACL マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
exit	ACL 終了関連デバッグ メッセージを表示します。
label	ACL ラベル関連デバッグ メッセージを表示します。
main	主な、または重要な ACL デバッグ メッセージを表示します。
racl	ルータ ACL 関連デバッグ メッセージを表示します。
vacl	VLAN ACL 関連デバッグ メッセージを表示します。
vlmap	ACL VLAN マップ関連デバッグ メッセージを表示します。
warn	ACL 警告関連デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform acl コマンドは、**no debug platform acl** コマンドと同じです。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

```
Switch# debug platform acl ?
  all          ACL Manager All
  exit         ACL Exit related events
  expand       VMR L4Op allocation/expansion related events
  fspan       ACL Fspan related events
  ipe         ACL IPE related events
  ipv6        ACL IPv6 related
  label       ACL Label related events
  limitations  ACL Limitations related events
  main        ACL Main related events
  odm         ODM related events
  port-acl    Port-ACL related events
  racl        ACL Racl related events
  stack       ACL Stack related events
  urpf        ACL URPF related events
  vacl        ACL Vacl related events
```

■ debug platform acl

```

vlmap      ACL Vlmap related events
warn       ACL Warn related events

Switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform backup interface

Flex Link プラットフォーム バックアップ インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform backup interface** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform backup interface

no debug platform backup interface

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

プラットフォーム バックアップ インターフェイス デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform backup interface コマンドは、**no debug platform backup interface** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform cisp

1 つ以上の Client Information Signalling Protocol (CISP) 対応インターフェイスがあるスイッチのプラットフォーム レベルのデバッグをイネーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **debug platform cisp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform cisp [initialization | interface-configuration | rpc]

no debug platform cisp [initialization | interface-configuration | rpc]

構文の説明

initialization	(任意) CISP 初期化シーケンスのデバッグをイネーブルにします。
interface-configuration	(任意) CISP 設定のデバッグをイネーブルにします。
rpc	(任意) CISP RPC 要求のデバッグをイネーブルにします。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform cisp コマンドは、**no debug platform cisp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
cisp enable	Client Information Signalling Protocol (CISP) をイネーブルにします。
dot1x credentials (グローバル コンフィギュレーション) <i>profile</i>	プロファイルをサブリカント スイッチに設定します。
show cisp	指定されたインターフェイスの CISP 情報を表示します。

debug platform cpu-queues

プラットフォーム CPU 受信キューのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform cpu-queues** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform cpu-queues {broadcast-q | cbt-to-spt-q | cpuhub-q | host-q | icmp-q |
  igmp-snooping-q | layer2-protocol-q | logging-q | remote-console-q | routing-protocol-q |
  rpffail-q | software-fwd-q | stp-q}
```

```
no debug platform cpu-queues {broadcast-q | cbt-to-spt-q | cpuhub-q | host-q | icmp-q |
  igmp-snooping-q | layer2-protocol-q | logging-q | remote-console-q | routing-protocol-q |
  rpffail-q | software-fwd-q | stp-q}
```

構文の説明

broadcast-q	ブロードキャスト キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
cbt-to-spt-q	core-based tree to shortest-path tree (cbt-to-spt) キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
cpuhub-q	CPU ハートビート キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
host-q	ホスト キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
icmp-q	インターネット制御メッセージ プロトコル (ICMP) キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
igmp-snooping-q	インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピング キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
layer2-protocol-q	レイヤ 2 プロトコル キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
logging-q	ロギング キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
remote-console-q	リモート コンソール キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
routing-protocol-q	ルーティング プロトコル キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
rpffail-q	リバース パス転送 (RPF) 障害キューによって受信されたパケットに関するデバッグ メッセージを表示します。
software-fwd-q	ソフトウェア転送キューによって受信されたパケットが受信した表示デバッグ パケットのデバッグを表示します。
stp-q	スパンニングツリー プロトコル (STP) キューによって受信されたパケットのデバッグを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

■ debug platform cpu-queues

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebg platform cpu-queues` コマンドは、`no debug platform cpu-queues` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform dot1x

IEEE 802.1x イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform dot1x** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform dot1x {initialization | interface-configuration | rpc}
```

```
no debug platform dot1x {initialization | interface-configuration | rpc}
```

構文の説明

initialization	IEEE 802.1x 認証初期化シーケンス デバッグ メッセージを表示します。
interface-configuration	IEEE 802.1x インターフェイス コンフィギュレーション関連デバッグ メッセージを表示します。
rpc	IEEE 802.1x リモート プロシージャ コール (RPC) 要求デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform dot1x コマンドは、**no debug platform dot1x** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform etherchannel** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform etherchannel {init | link-up | rpc | warnings}
```

```
no debug platform etherchannel {init | link-up | rpc | warnings}
```

構文の説明

init	EtherChannel モジュール初期化デバッグ メッセージを表示します。
link-up	EtherChannel リンクアップおよびリンクダウンに関連したデバッグ メッセージを表示します。
rpc	EtherChannel リモート プロシージャ コール (RPC) デバッグ メッセージを表示します。
warnings	EtherChannel 警告デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform etherchannel コマンドは、**no debug platform etherchannel** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform forw-tcam

フォワーディング Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform forw-tcam** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform forw-tcam [adjustment | allocate | audit | error | move | read | write]

no debug platform forw-tcam [adjustment | allocate | audit | error | move | read | write]

構文の説明

adjustment	(任意) TCAM マネージャ調整デバッグ メッセージを表示します。
allocate	(任意) TCAM マネージャ割り当てデバッグ メッセージを表示します。
audit	(任意) TCAM マネージャ監査メッセージを表示します。
error	(任意) TCAM マネージャ エラー メッセージを表示します。
move	(任意) TCAM マネージャ移行メッセージを表示します。
read	(任意) TCAM マネージャ読み込みメッセージを表示します。
write	(任意) TCAM マネージャ書き込みメッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

キーワードが指定されない場合、転送 TCAM マネージャ デバッグ メッセージがすべて表示されます。
undebug platform forw-tcam コマンドは、**no debug platform forw-tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform ip arp inspection

ダイナミック アドレス解決プロトコル (ARP) インスペクション イベントをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug platform ip arp inspection** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform ip arp inspection {all | error | event | packet | rpc}

no debug platform ip arp inspection {all | error | event | packet | rpc}

構文の説明

all	すべてのダイナミック ARP インスペクション デバッグ メッセージを表示します。
error	ダイナミック ARP インスペクション エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	ダイナミック ARP インスペクション イベント デバッグ メッセージを表示します。
packet	ダイナミック ARP インスペクション パケット関連デバッグ メッセージを表示します。
rpc	ダイナミック ARP インスペクション リモート プロシージャ コール (RPC) 要求デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform ip arp inspection コマンドは、**no debug platform ip arp inspection** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show inventory	ダイナミック ARP インスペクションの設定および動作ステータスを表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform ip dhcp

DHCP イベントをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug platform ip dhcp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip dhcp [all | error | event | packet | rpc]
```

```
no debug platform ip dhcp [all | error | event | packet | rpc]
```

構文の説明

all	(任意) DHCP デバッグ メッセージをすべて表示します。
error	(任意) DHCP エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	(任意) DHCP イベント デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) DHCP パケット関連デバッグ メッセージを表示します。
rpc	(任意) DHCP リモート プロシージャ コール (RPC) 要求デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform ip dhcp コマンドは、**no debug platform ip dhcp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピング設定を表示します。
show ip dhcp snooping binding	DHCP スヌーピング バインディング情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform ip igmp snooping

プラットフォームに依存するインターネットグループ管理プロトコル (IGMP) スヌーピングのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform ip igmp snooping** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip igmp snooping {all | di | error | event | group | mgmt | pak | retry | rpc | warn}
```

```
debug platform ip igmp snooping pak {ip-address | error | ipopt | leave | query | report | rx | svi | tx}
```

```
debug platform ip igmp snooping rpc [cfg | l3mm | misc | vlan]
```

```
no debug platform ip igmp snooping {all | di | error | event | group | mgmt | pak | retry | rpc | warn}
```

構文の説明

all	すべての IGMP スヌーピング デバッグ メッセージを表示します。
di	IGMP スヌーピング宛先インデックス (di) 調整リモート プロシージャ コール (RPC) デバッグ メッセージを表示します。
error	IGMP スヌーピング エラー メッセージを表示します。
event	IGMP スヌーピング イベント デバッグ メッセージを表示します。
group	IGMP スヌーピング グループ デバッグ メッセージを表示します。
mgmt	IGMP スヌーピング管理デバッグ メッセージを表示します。
pak { <i>ip-address</i> error ipopt leave query report rx svi tx }	<p>IGMP スヌーピング パケット イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ip-address : IGMP グループの IP アドレス • error : IGMP スヌーピング パケット エラー デバッグ メッセージを表示します。 • ipopt : IGMP スヌーピング IP ブリッジング オプション デバッグ メッセージを表示します。 • leave : IGMP スヌーピング脱退デバッグ メッセージを表示します。 • query : IGMP スヌーピング クエリー デバッグ メッセージを表示します。 • report : IGMP スヌーピング レポート デバッグ メッセージを表示します。 • rx : IGMP スヌーピング受信パケット デバッグ メッセージを表示します。 • svi : IGMP スヌーピング スイッチ仮想インターフェイス (SVI) パケット デバッグ メッセージを表示します。 • tx : IGMP スヌーピング送信パケット デバッグ メッセージを表示します。
retry	IGMP スヌーピング リトライ デバッグ メッセージを表示します。

rpc [cfg l3mm misc vlan]	IGMP スヌーピング リモート プロシージャ コール (RPC) イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • cfg : (任意) IGMP スヌーピング RPC デバッグ メッセージを表示します。 • l3mm : (任意) IGMP スヌーピング レイヤ 3 マルチキャスト ルータ グループ RPC デバッグ メッセージを表示します。 • misc : (任意) IGMP スヌーピングのその他の RPC デバッグ メッセージを表示します。 • vlan : (任意) IGMP スヌーピング VLAN アサート RPC デバッグ メッセージを表示します。
warn	IGMP スヌーピング警告メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebug platform ip igmp snooping` コマンドは、`no debug platform ip igmp snooping` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>debug ip igmp snooping</code>	プラットフォーム独立 IGMP スヌーピング アクティビティに関する情報を表示します。
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform ip source-guard

IP ソース ガード イベントをデバッグするには、特権 EXEC モードで **debug platform ip source-guard** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip source-guard {all | error | event}
```

```
no debug platform ip source-guard {all | error | event}
```

構文の説明

all	すべての IP 送信元ガード プラットフォーム デバッグ メッセージを表示します。
error	IP 送信元ガード プラットフォーム エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	IP 送信元ガード プラットフォーム イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform ip source-guard コマンドは、**no debug platform ip source-guard** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip verify source	IP 送信元ガードの設定を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャストのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform ip unicast** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip unicast {adjacency | all | arp | dhcp | errors | events | interface | mpath | registries | retry | route | rpc | standby | statistics}
```

```
no debug platform ip unicast {adjacency | all | arp | dhcp | errors | events | interface | mpath | registries | retry | route | rpc | standby | statistics}
```



(注)

このコマンドは、スイッチが IP サービス イメージを実行している場合だけ使用可能です。

構文の説明

adjacency	IP ユニキャスト ルーティング隣接プログラミング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのプラットフォームの IP ユニキャスト ルーティングのデバッグ メッセージを表示します。 (注) このコマンドを使用すると、スイッチのパフォーマンスが悪化する可能性があります。
arp	IP ユニキャスト ルーティングのアドレス解決プロトコル (ARP) および ARP スロットリングのデバッグ メッセージを表示します。
dhcp	IP ユニキャスト ルーティング DHCP ダイナミック アドレス関連イベントのデバッグ メッセージを表示します。
errors	すべての IP ユニキャスト ルーティング エラーのデバッグ メッセージ (リソース割り当てエラーを含む) を表示します。
events	すべての IP ユニキャスト ルーティング イベントのデバッグ メッセージ (レジストリ および各種イベントを含む) を表示します。
interface	IP ユニキャスト ルーティング インターフェイス イベントのデバッグ メッセージを表示します。
mpath	IP ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接プログラミング イベントのデバッグ メッセージ (等価または不等価コスト ルーティングの実行時に発生) を表示します。
registries	IP ユニキャスト ルーティング転送情報データベース (FIB)、隣接の追加、更新、および削除レジストリ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
retry	Ternary Content Addressable Memory (TCAM) の割り当てエラーの発生した IP ユニキャスト ルーティング プログラム FIB のデバッグ メッセージを表示します。
route	IP ユニキャスト ルーティング FIB TCAM プログラミング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
rpc	IP ユニキャスト ルーティング レイヤ 3 ユニキャスト リモート プロシージャ コール (RPC) 相互作用のデバッグ メッセージを表示します。
standby	ホットスタンバイ ルータ プロトコル (HSRP) の問題発生時のトラブルシューティングに役立つ、IP ユニキャスト ルーティング スタンバイ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
statistics	IP ユニキャスト ルーティング統計情報収集関連イベントのデバッグ メッセージを表示します。

■ debug platform ip unicast

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **undebug platform ip unicast** コマンドは、**no debug platform ip unicast** コマンドと同じです。

例 次に、すべてのプラットフォームの IP ユニキャスト ルーティングをオンにする例を示します。

```
Switch# debug platform ip unicast all
debug platform ip-unicast all debugging is on
Switch#
```

次に、すべてのプラットフォームの IP ユニキャスト ルーティングをオフにする例を示します。

```
Switch# undebug platform ip unicast all
debug platform ip-unicast all debugging is off
Switch#
```


debug platform led

発光ダイオード（LED）動作のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform led** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform led {generic | signal}
```

```
no debug platform led {generic | signal}
```

構文の説明

generic	LED 総称アクション デバッグ メッセージを表示します。
signal	LED 信号ビット マップ デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring には表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform led コマンドは、**no debug platform led** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform matm

プラットフォームに依存する MAC アドレス管理のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform matm** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform matm {aging | all | ec-aging | errors | learning | rpc | secure-address | warnings}
```

```
no debug platform matm {aging | all | ec-aging | errors | learning | rpc | secure-address | warnings}
```

構文の説明

aging	MAC アドレス エージング デバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのプラットフォーム MAC アドレス管理イベントデバッグ メッセージを表示します。
ec-aging	EtherChannel アドレス エージング関連デバッグ メッセージを表示します。
errors	MAC アドレス管理エラー メッセージを表示します。
learning	MAC アドレス管理アドレス学習デバッグ メッセージを表示します。
rpc	MAC アドレス管理リモート プロシージャ コール (RPC) 関連デバッグ メッセージを表示します。
secure-address	MAC アドレス管理セキュア アドレス学習デバッグ メッセージを表示します。
warning	MAC アドレス管理警告メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform matm コマンドは、**no debug platform matm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
debug matm	プラットフォーム独立 MAC アドレス管理に関する情報を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0』を参照してください。

debug platform messaging application

アプリケーション メッセージング アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform messaging application** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform messaging application {all | badpak | cleanup | events | memerr | messages | usererr}

no debug platform messaging application {all | badpak | cleanup | events | memerr | messages | usererr}

構文の説明

all	すべてのアプリケーション メッセージング デバッグ メッセージを表示します。
badpak	不良パケット デバッグ メッセージを表示します。
cleanup	クリーンアップ デバッグ メッセージを表示します。
events	イベント デバッグ メッセージを表示します。
memerr	メモリ エラー デバッグ メッセージを表示します。
messages	アプリケーション メッセージング デバッグ メッセージを表示します。
usererr	ユーザ エラー デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stackchg キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform messaging application コマンドは、**no debug platform messaging application** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0』を参照してください。

debug platform phy

PHY ドライバ情報のデバッグをイネードルするには、特権 EXEC モードで **debug platform phy** コマンドを使用します。デバッグをディセードルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform phy {automdix | cablediag | dual-purpose | flcd {configure | ipc | iter | trace} |
  flowcontrol | forced | init-seq | link-status | read | sfp | show-controller | speed | write |
  xenpak}
```

```
no debug platform phy {automdix | cablediag | dual-purpose | flcd {configure | ipc | iter | trace} |
  flowcontrol | forced | init-seq | link-status | read | sfp | show-controller | speed | write |
  xenpak}
```

構文の説明

automdix	PHY Automatic Medium-Dependent Interface Crossover (Auto-MDIX) デバッグ メッセージを表示します。
cablediag	PHY ケーブル診断デバッグ メッセージを表示します。
dual-purpose	PHY デュアルパーパス イベント デバッグ メッセージを表示します。
flcd {configure ipc iter trace}	PHY FLCD デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • configure : PHY 設定デバッグ メッセージを表示します。 • ipc : プロセス間通信プロトコル (IPC) のデバッグ メッセージを表示します。 • iter : iter デバッグ メッセージを表示します。 • trace : トレースのデバッグ メッセージを表示します。
flowcontrol	PHY フロー制御デバッグ メッセージを表示します。
forced	PHY 強制モードデバッグ メッセージを表示します。
init-seq	PHY 初期化シーケンス デバッグ メッセージを表示します。
link-status	PHY リンク ステータス デバッグ メッセージを表示します。
read	PHY-read デバッグ メッセージを表示します。
sfp	Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュール デバッグ メッセージを表示します。
show-controller	PHY show controller デバッグ メッセージを表示します。
speed	PHY 速度変更デバッグ メッセージを表示します。
write	PHY-write デバッグ メッセージを表示します。
xenpak	PHY XENPAK デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセードルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebg platform phy` コマンドは、`no debug platform phy` コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ ソフトウェア モジュールのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform pm** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform pm {all | counters | errdisable | etherchnl | exceptions | hpm-events | idb-events
| if-numbers | ios-events | link-status | platform | pm-events | pm-span | pm-vectors [detail]
| rpc [general | oper-info | state | vectors | vp-events] | soutput-vectors | sync | vlans}
```

```
no debug platform pm {all | counters | errdisable | etherchnl | exceptions | hpm-events |
idb-events | if-numbers | ios-events | link-status | platform | pm-events | pm-span |
pm-vectors [detail] | rpc [general | oper-info | state | vectors | vp-events] | soutput-vectors |
sync | vlans}
```

構文の説明

all	すべてのポート マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
counters	リモート プロシージャ コール (RPC) デバッグ メッセージのカウンタを表示します。
errdisable	エラー ディセーブル関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
etherchnl	EtherChannel 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	システム例外デバッグ メッセージを表示します。
hpm-events	プラットフォーム ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
idb-events	Interface Descriptor Block (IDB) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
if-numbers	インターフェイス番号のトランスレーション イベント デバッグ メッセージを表示します。
ios-events	Cisco IOS イベント デバッグ メッセージを表示します。
link-status	インターフェイス リンク検出イベント デバッグ メッセージを表示します。
platform	ポート マネージャ機能イベント デバッグ メッセージを表示します。
pm-events	ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
pm-span	ポート マネージャ スイッチド ポート アナライザ (SPAN) イベント デバッグ メッセージを表示します。
pm-vectors [detail]	ポート マネージャ ベクタ関連イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • detail : ベクトル機能の詳細を表示します。
rpc [general oper-info state vectors vp-events]	RPC 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • general : (任意) RPC 一般イベントを表示します。 • oper-info : (任意) 操作および情報関連 RPC メッセージを表示します。 • state : (任意) 管理および操作関連 RPC メッセージを表示します。 • vectors : (任意) ベクタ関連 RPC メッセージを表示します。 • vp-events : (任意) 仮想ポート関連イベント RP メッセージを表示します。
soutput-vectors	IDB 出力ベクタ イベント デバッグ メッセージを表示します。

sync	操作同期および VLAN ラインステート イベント デバッグ メッセージを表示します。
vlan	VLAN 作成および削除 イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注) **stack-manager** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **undebug platform pm** コマンドは、**no debug platform pm** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform port-asic

ポート特定用途向け集積回路（ASIC）ドライバのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform port-asic** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform port-asic {**interrupt** | **periodic** | **read** | **write**}

no debug platform port-asic {**interrupt** | **periodic** | **read** | **write**}

構文の説明

interrupt	ポート ASIC 割り込み関連機能デバッグ メッセージを表示します。
periodic	ポート ASIC 定期機能コール デバッグ メッセージを表示します。
read	ポート ASIC 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
write	ポート ASIC 書き込みデバッグ メッセージを表示します。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform port-asic コマンドは、**no debug platform port-asic** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform port-security

プラットフォームに依存するポートセキュリティ情報のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform port-security** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform port-security {add | aging | all | delete | errors | rpc | warnings}
```

```
no debug platform port-security {add | aging | all | delete | errors | rpc | warnings}
```

構文の説明

add	セキュア アドレス追加デバッグ メッセージを表示します。
aging	セキュア アドレス エージング デバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのポートセキュリティのデバッグ メッセージを表示します。
delete	表示セキュア アドレス削除デバッグ メッセージを表示します。
errors	ポートセキュリティ エラー デバッグ メッセージを表示します。
rpc	リモートプロシージャコール (RPC) デバッグ メッセージを表示します。
warnings	警告デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform port-security コマンドは、**no debug platform port-security** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform qos-acl-tcam

Quality of Service (QoS) およびアクセス コントロール リスト (ACL) Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform qos-acl-tcam** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform qos-acl-tcam {all | ctcam | errors | labels | mask | rpc | tcam}
```

```
no debug platform qos-acl-tcam {all | ctcam | errors | labels | mask | rpc | tcam}
```



(注)

このコマンドを使用できるのは、スイッチが LAN Base イメージを実行している場合だけです。

構文の説明

all	すべての QoS および ACL TCAM (QATM) マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
ctcam	Cisco TCAM (CTCAM) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
errors	QATM エラー関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
labels	QATM ラベル関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
mask	QATM マスク関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
rpc	QATM リモート プロシージャ コール (RPC) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
tcam	QATM TCAM 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform qos-acl-tcam コマンドは、**no debug platform qos-acl-tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0』を参照してください。

debug platform resource-manager

リソース マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform resource-manager** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform resource-manager {all | dm | erd | errors | madmed | sd | stats | vld}
```

```
no debug platform resource-manager {all | dm | erd | errors | madmed | sd | stats | vld}
```

構文の説明

all	すべてのリソース マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
dm	宛先マップ デバッグ メッセージを表示します。
erd	等コスト ルート記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
errors	エラー デバッグ メッセージを表示します。
madmed	MAC アドレス記述子テーブルおよびマルチエクスパンション記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
sd	ステーション記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
stats	統計デバッグ メッセージを表示します。
vld	VLAN リスト記述子デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform resource-manager コマンドは、**no debug platform resource-manager** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0』を参照してください。

debug platform snmp

プラットフォームに依存する簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform snmp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform snmp

no debug platform snmp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform snmp コマンドは、**no debug platform snmp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform span

プラットフォームに依存するスイッチドポートアナライザ (SPAN) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform span** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform span

no debug platform span

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform span コマンドは、**no debug platform span** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform supervisor-asic

スーパーバイザ特定用途向け集積回路（ASIC）のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform supervisor-asic** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform supervisor-asic {all | errors | receive | send}

no debug platform supervisor-asic {all | errors | receive | send}

構文の説明

all	すべてのスーパーバイザ ASIC イベント デバッグ メッセージを表示します。
errors	スーパーバイザ ASIC エラー デバッグ メッセージを表示します。
receive	スーパーバイザ ASIC 受信デバッグ メッセージを表示します。
send	スーパーバイザ ASIC 送信デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform supervisor-asic コマンドは、**no debug platform supervisor-asic** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform sw-bridge

ソフトウェアブリッジング機能のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform sw-bridge** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform sw-bridge {broadcast | control | multicast | packet | unicast}
```

```
no debug platform sw-bridge {broadcast | control | multicast | packet | unicast}
```

構文の説明

broadcast	ブロードキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。
control	プロトコル パケット デバッグ メッセージを表示します。
multicast	マルチキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。
packet	送受信データ デバッグ メッセージを表示します。
unicast	ユニキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug platform sw-bridge コマンドは、**no debug platform sw-bridge** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform tcam

Ternary Content Addressable Memory (TCAM) アクセスおよびルックアップのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform tcam** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```

debug platform tcam {log | read | search | write}
debug platform tcam log l2 {acl {input | output} | local | qos}
debug platform tcam log l3 {acl {input | output} | ipv6 {acl {input | output} | local | qos |
secondary} | local | qos | secondary}
debug platform tcam read {reg | ssram | tcam}
debug platform tcam search
debug platform tcam write {forw-ram | reg | tcam}
no debug platform tcam {log | read | search | write}
no debug platform tcam log l2 {acl {input | output} | local | qos}
no debug platform tcam log l3 {acl {input | output} | ipv6 {acl {input | output} | local | qos |
secondary} | local | qos | secondary}
no debug platform tcam read {reg | ssram | tcam}
no debug platform tcam search
no debug platform tcam write {forw-ram | reg | tcam}

```

構文の説明

log l2 {acl {input | output} | local | qos} レイヤ 2 フィールド ベース CAM ルックアップ タイプ デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。

- **acl {input | output}**: 入力または出力 ACL ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。
- **local**: ローカル フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。
- **qos**: 分類および Quality of Service (QoS) ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。

l3 {acl {input output} ipv6 {acl {input output} local qos secondary} local qos secondary}	レイヤ 3 フィールド ベース CAM ルックアップ タイプ デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • acl {input output}: 入力または出力 ACL ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • ipv6 {acl {input output} local qos secondary}: IPv6 ベース ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。オプションには、入力または出力 ACL ルックアップ、ローカル フォワーディング ルックアップ、および QoS ルックアップ、またはセカンダリ フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージの表示が含まれます。 • local: ローカル フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • qos: 分類および Quality of Service (QoS) ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • secondary: セカンダリ フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。
read {reg ssram tcam}	TCAM-read デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • reg: TCAM レジスタ読み取りデバッグ メッセージを表示します。 • ssram: Synchronous Static RAM (SSRAM) 読み取りデバッグ メッセージを表示します。 • tcam: TCAM 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
search	スーパーバイザ主導 TCAM サーチ結果デバッグ メッセージを表示します。
write {forw-ram reg tcam}	TCAM-write デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <p>forw-ram: フォワーディング RAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p> <p>reg: TCAM レジスタ書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p> <p>tcam: TCAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p>

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン**undebg platform tcam** コマンドは、**no debug platform tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform uddl

プラットフォームに依存する単方向リンク検出 (UDLD) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug platform uddl** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform uddl [all | error | rpc {events | messages}]

no debug platform uddl [all | error | rpc {events | messages}]

構文の説明

all	(任意) UDLD デバッグ メッセージをすべて表示します。
error	(任意) エラー条件デバッグ メッセージを表示します。
rpc {events messages}	(任意) UDLD リモート プロシージャ コール (RPC) デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> events : UDLD RPC イベントを表示します。 messages : UDLD RPC メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform uddl コマンドは、**no debug platform uddl** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug platform vlan

VLAN マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、EXEC モードで **debug platform vlan** 特権コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform vlan {errors | mvid | rpc}
```

```
no debug platform vlan {errors | mvid | rpc}
```

構文の説明

errors	VLAN エラー デバッグ メッセージを表示します。
mvid	マッピングされた VLAN ID の割り当ておよびフリー デバッグ メッセージを表示します。
rpc	リモート プロシージャ コール (RPC) デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg platform vlan コマンドは、**no debug platform vlan** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug pm

ポートマネージャ (PM) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug pm** コマンドを使用します。PM は、すべての論理および物理インターフェイスを制御するステートマシンです。VLAN や単方向リンク検出 (UDLD) などを含むすべての機能は、ポートマネージャと連携して、スイッチに機能を提供します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug pm {all | assert | card | etherchnl | hatable | messages | port | redundancy | registry | sm |
span | split | vlan | vp}
```

```
no debug pm {all | assert | card | etherchnl | hatable | messages | port | redundancy | registry |
sm | span | split | vlan | vp}
```

構文の説明

all	すべての PM デバッグ メッセージを表示します。
assert	アサート デバッグ メッセージを表示します。
card	ラインカード関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
etherchnl	EtherChannel 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
hatable	Host Access Table イベント デバッグ メッセージを表示します。
messages	PM デバッグ メッセージを表示します。
port	ポート関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
redundancy	冗長デバッグ メッセージを表示します。
registry	PM レジストリ呼び出しデバッグ メッセージを表示します。
sm	ステートマシン関連イベントのデバッグ メッセージをデバッグします。
span	スパンニングツリー関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
split	スプリットプロセッサ デバッグ メッセージを表示します。
vlan	VLAN 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
vp	仮想ポート関連イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注) **scp** および **pvlan** キーワードはコマンドラインのヘルプ スtring に表示されますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

■ debug pm

使用上のガイドライン **undebug pm** コマンドは、**no debug pm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。

debug port-security

ポートセキュリティ サブシステムの割り当ておよびステータスのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug port-security** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug port-security

no debug port-security

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg port-security コマンドは、**no debug port-security** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show port-security	インターフェイスまたはスイッチのポートセキュリティ設定を表示します。

debug profinet alarm

PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug profinet alarm** コマンドを使用します。PROFINET デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug profinet alarm

no debug profinet alarm

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

PROFINET デバッグは設定されていません。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug profinet alarm コマンドは、**no debug profinet alarm** コマンドと同じです。

シスコのテクニカル サポート エンジニアの指示を受けた場合にのみ、このコマンドを使用してください。

このコマンドを使用する場合、シリアル ポート経由ではなく、イーサネット ポート経由で Telnet を使用して Cisco IOS ソフトウェアのコマンドライン インターフェイス (CLI) にアクセスします。

例

次の例では、PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにする方法を示します。

```
Switch# debug profinet alarm
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug profinet cyclic	PROFINET 巡回パケットの送受信に関連するファンクション コールを表示します。
debug profinet error	PROFINET セッション エラーのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet packet	PROFINET パケットのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet platform	Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにします。
debug profinet topology	受信した PROFINET トポロジ パケットを表示します。
debug profinet trace	トレースした一連のデバッグ出力ログを表示します。
profinet	スイッチの PROFINET 機能をイネーブルにします。

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show profinet</code>	スイッチの PROFINET セッションの詳細を表示します。

debug profinet cyclic

PROFINET 巡回パケットの送受信に関連するファンクション コールを表示するには、特権 EXEC モードで **debug profinet cyclic** コマンドを使用します。PROFINET デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug profinet cyclic

no debug profinet cyclic

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

PROFINET デバッグは設定されていません。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebg profinet cyclic コマンドは、**no debug profinet cyclic** コマンドと同じです。

シスコのテクニカル サポート エンジニアの指示を受けた場合にのみ、このコマンドを使用してください。

このコマンドを使用する場合、シリアル ポート経由ではなく、イーサネット ポート経由で Telnet を使用して Cisco IOS ソフトウェアのコマンドライン インターフェイス (CLI) にアクセスします。

例

次の例では、タイム サイクル ベースの PROFINET イーサネット フレームに関する情報を表示する方法を示します。

```
Switch# debug profinet cyclic
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug profinet alarm	PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet error	PROFINET セッション エラーのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet packet	PROFINET パケットのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet platform	Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにします。
debug profinet topology	受信した PROFINET トポロジ パケットを表示します。
debug profinet trace	トレースした一連のデバッグ出力ログを表示します。
profinet	スイッチの PROFINET 機能をイネーブルにします。

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show profinet</code>	スイッチの PROFINET セッションの詳細を表示します。

debug profinet error

PROFINET セッション エラーのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug profinet error** コマンドを使用します。PROFINET デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug profinet error

no debug profinet error

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

PROFINET デバッグは設定されていません。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug profinet error コマンドは、**no debug profinet error** コマンドと同じです。

シスコのテクニカル サポート エンジニアの指示を受けた場合にのみ、このコマンドを使用してください。

このコマンドを使用する場合、シリアル ポート経由ではなく、イーサネット ポート経由で Telnet を使用して Cisco IOS ソフトウェアのコマンドライン インターフェイス (CLI) にアクセスします。

例

次の例では、PROFINET エラーのデバッグをイネーブルにする方法を示します。

```
Switch# debug profinet error
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug profinet alarm	PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet cyclic	PROFINET 巡回パケットの送受信に関連するファンクション コールを表示します。
debug profinet packet	PROFINET パケットのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet platform	Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにします。
debug profinet topology	受信した PROFINET トポロジ パケットを表示します。
debug profinet trace	トレースした一連のデバッグ出力ログを表示します。
profinet	スイッチの PROFINET 機能をイネーブルにします。

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show profinet</code>	スイッチの PROFINET セッションの詳細を表示します。

debug profinet packet

PROFINET 機能のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug profinet packet** コマンドを使用します。PROFINET デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug profinet packet {ethernet | udp}

no debug profinet packet {ethernet | udp}

構文の説明

ethernet	PROFINET イーサネット パケットのデバッグをイネーブルにします。
udp	PROFINET UDP パケットのデバッグをイネーブルにします。

デフォルト

PROFINET デバッグは設定されていません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebg profinet packet コマンドは、**no debug profinet packet** コマンドと同じです。

シスコのテクニカル サポート エンジニアの指示を受けた場合にのみ、このコマンドを使用してください。

このコマンドを使用する場合、シリアル ポート経由ではなく、イーサネット ポート経由で Telnet を使用して Cisco IOS ソフトウェアのコマンドライン インターフェイス (CLI) にアクセスします。

例

次の例では、PROFINET イーサネット パケットのデバッグをイネーブルにする方法を示します。

```
Switch# debug profinet packet ethernet
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug profinet alarm	PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet cyclic	PROFINET 巡回パケットの送受信に関連するファンクション コールを表示します。
debug profinet error	PROFINET セッション エラーのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet platform	Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにします。
debug profinet topology	受信した PROFINET トポロジ パケットを表示します。
debug profinet trace	トレースした一連のデバッグ出力ログを表示します。
profinet	スイッチの PROFINET 機能をイネーブルにします。

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show profinet</code>	スイッチの PROFINET セッションの詳細を表示します。

debug profinet platform

Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug profinet platform** コマンドを使用します。PROFINET デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug profinet platform

no debug profinet platform

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

PROFINET デバッグは設定されていません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebg profinet platform コマンドは、**no debug profinet platform** コマンドと同じです。

シスコのテクニカル サポート エンジニアの指示を受けた場合にのみ、このコマンドを使用してください。

このコマンドを使用する場合、シリアル ポート経由ではなく、イーサネット ポート経由で Telnet を使用して Cisco IOS ソフトウェアのコマンドライン インターフェイス (CLI) にアクセスします。

例

次の例では、Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにする方法を示します。

```
Switch# debug profinet platform
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug profinet alarm	PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet cyclic	PROFINET 巡回パケットの送受信に関連するファンクション コールを表示します。
debug profinet error	PROFINET セッション エラーのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet packet	PROFINET パケットのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet topology	受信した PROFINET トポロジ パケットを表示します。
debug profinet trace	トレースした一連のデバッグ出力ログを表示します。
profinet	スイッチの PROFINET 機能をイネーブルにします。

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show profinet</code>	スイッチの PROFINET セッションの詳細を表示します。

debug profinet topology

PROFINET トポロジ ディスカバリで使用されるリンク層検出プロトコル (LLDP) および簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) パケットに関する情報を表示するには、特権 EXEC モードで **debug profinet topology** コマンドを使用します。PROFINET デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug profinet topology

no debug profinet topology

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

PROFINET デバッグは設定されていません。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug profinet topology コマンドは、**no debug profinet topology** コマンドと同じです。

シスコのテクニカル サポート エンジニアの指示を受けた場合にのみ、このコマンドを使用してください。

このコマンドを使用する場合、シリアル ポート経由ではなく、イーサネット ポート経由で Telnet を使用して Cisco IOS ソフトウェアのコマンドライン インターフェイス (CLI) にアクセスします。

例

次の例では、PROFINET トポロジ ディスカバリのデバッグをイネーブルにする方法を示します。

```
Switch# debug profinet topology
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug profinet alarm	PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet cyclic	PROFINET 巡回パケットの送受信に関連するファンクション コールを表示します。
debug profinet error	PROFINET セッション エラーのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet packet	PROFINET パケットのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet platform	Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにします。
debug profinet trace	トレースした一連のデバッグ出力ログを表示します。
profinet	スイッチの PROFINET 機能をイネーブルにします。

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show profinet</code>	スイッチの PROFINET セッションの詳細を表示します。

debug profinet trace

トレースされたデバッグ出力ログを表示するには、特権 EXEC モードで **debug profinet trace** コマンドを使用します。PROFINET デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug profinet trace

no debug profinet trace

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

PROFINET デバッグは設定されていません。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug profinet trace コマンドは、**no debug profinet trace** コマンドと同じです。

シスコのテクニカル サポート エンジニアの指示を受けた場合にのみ、このコマンドを使用してください。

このコマンドを使用する場合、シリアル ポート経由ではなく、イーサネット ポート経由で Telnet を使用して Cisco IOS ソフトウェアのコマンドライン インターフェイス (CLI) にアクセスします。

例

次の例では、トレースされたデバッグ出力ログを表示する方法を示します。

```
Switch# debug profinet trace
```

関連コマンド

コマンド	説明
debug profinet alarm	PROFINET アラームのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet cyclic	PROFINET 巡回パケットの送受信に関連するファンクション コールを表示します。
debug profinet error	PROFINET セッション エラーのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet packet	PROFINET パケットのデバッグをイネーブルにします。
debug profinet platform	Cisco IOS ソフトウェアと PROFINET の相互作用のデバッグをイネーブルにします。
debug profinet topology	受信した PROFINET トポロジ パケットを表示します。
profinet	スイッチの PROFINET 機能をイネーブルにします。

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show profinet</code>	スイッチの PROFINET セッションの詳細を表示します。

debug ptp

高精度時間プロトコル (PTP) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug ptp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug ptp {bmc | clock-correction | errors | event | messages | error | transparent-clock}
```

```
no debug ptp {bmc | clock-correction | errors | event | messages | error | transparent-clock}
```

構文の説明

bmc	PTP ベスト マスター クロック アルゴリズムのデバッグ メッセージを表示します。
clock-correction	PTP クロック 修正デバッグ メッセージを表示します。
collision	PTP ソースのコリジョンのメッセージを表示します。
error	PTP エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	PTP ステート イベント デバッグ メッセージを表示します。
messages	PTP デバッグ メッセージを表示します。
transparent-clock	PTP トランスペアレント クロックのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug ptp コマンドは、**no debug ptp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
ptp (インターフェイス コンフィギュレーション)	PTP クロック プロパティを設定します。
show ptp	ポートの PTP クロック プロパティを設定します。
show ptp	ポートに設定された PTP プロパティを表示します。

debug qos-manager

Quality of Service (QoS) マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug qos-manager** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug qos-manager {all | event | verbose}
```

```
no debug qos-manager {all | event | verbose}
```



(注)

このコマンドを使用できるのは、スイッチが LAN Base イメージを実行している場合だけです。

構文の説明

all	すべての QoS-manager デバッグ メッセージを表示します。
event	QoS-manager 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
verbose	QoS マネージャ詳細デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug qos-manager コマンドは、**no debug qos-manager** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0』を参照してください。

debug spanning-tree

スパニングツリー アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug spanning-tree** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree {all | backbonefast | bpdu | bpdu-opt | config | etherchannel | events |
exceptions | general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch | synchronization | uplinkfast}
```

```
no debug spanning-tree {all | backbonefast | bpdu | bpdu-opt | config | etherchannel | events |
exceptions | general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch | synchronization | uplinkfast}
```

構文の説明

all	すべてのスパニングツリー デバッグ メッセージを表示します。
backbonefast	BackboneFast-event デバッグ メッセージを表示します。
bpdu	スパニングツリー ブリッジ プロトコル データ ユニット (BPDU) デバッグ メッセージを表示します。
bpdu-opt	最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。
config	スパニングツリー設定変更デバッグ メッセージを表示します。
etherchannel	EtherChannel-support デバッグ メッセージを表示します。
events	スパニングツリー トポロジ イベント デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	スパニングツリー例外デバッグ メッセージを表示します。
general	一般的なスパニングツリー アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
mstp	Multiple Spanning-Tree Protocol (MSTP) イベントをデバッグします。
pvst+	Per-VLAN Spanning-Tree Plus (PVST+) イベント デバッグ メッセージを表示します。
root	スパニングツリー ルート イベント デバッグ メッセージを表示します。
snmp	スパニングツリー簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) 処理デバッグ メッセージを表示します。
synchronization	スパニングツリー同期イベント デバッグ メッセージを表示します。
switch	スイッチ シム コマンドのデバッグ メッセージを表示します。このシムは、一般的なスパニングツリー プロトコル (STP) コードと、各スイッチ プラットフォーム固有コードとの間のインターフェイスとなるソフトウェア モジュールです。
uplinkfast	UplinkFast-event デバッグ メッセージを表示します。



(注)

csuf/csrt キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン `undebg spanning-tree` コマンドは、`no debug spanning-tree` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
	<code>show spanning-tree</code>	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree backbonefast

スパニングツリー BackboneFast イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug spanning-tree backbonefast** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree backbonefast [detail | exceptions]

no debug spanning-tree backbonefast [detail | exceptions]

構文の説明

detail	(任意) 詳細な BackboneFast デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	(任意) スパニングツリー BackboneFast 例外デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree backbonefast コマンドは、**no debug spanning-tree backbonefast** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu

送受信されたスパニングツリー ブリッジ プロトコル データ ユニット (BPDU) のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug spanning-tree bpdu** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

no debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

構文の説明

receive	(任意) 受信 BPDU 用非最適化パスのデバッグ メッセージを表示します。
transmit	(任意) 送信された BPDU デバッグ メッセージについて、最適化されないパスを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg spanning-tree bpdu コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu-opt

最適化されたスパニングツリーブリッジプロトコルデータユニット (BPDU) 処理のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug spanning-tree bpdu-opt** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

no debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

構文の説明

detail	(任意) 最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージの詳細を表示します。
packet	(任意) パケット レベルの最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree bpdu-opt コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu-opt** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree mstp

マルチ スパニングツリー プロトコル (MSTP) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug spanning-tree mstp** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init | migration |
  pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}
```

```
no debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init | migration
  | pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}
```

構文の説明

all	すべてのデバッグ メッセージをイネーブルにします。
boundary	次に示す境界上でのフラグ変更をデバッグします。 <ul style="list-style-type: none"> Multiple Spanning-Tree (MST) リージョンと、高速スパニングツリー プロトコル (RSTP) が稼働する単一のスパニングツリー リージョンとの境界 MST リージョンと、802.1D が稼働する単一のスパニングツリー リージョンとの境界 MST リージョンと、設定が異なる別の MST リージョンとの境界
bpdu-rx	受信した MST ブリッジ プロトコル データ ユニット (BPDU) をデバッグします。
bpdu-tx	送信された MST BPDU をデバッグします。
errors	MSTP エラーをデバッグします。
flush	ポート フラッシュ メカニズムをデバッグします。
init	MSTP データ構造の初期化をデバッグします。
migration	プロトコル移行ステート マシンをデバッグします。
pm	MSTP ポート マネージャ イベントをデバッグします。
proposals	指定スイッチとルート スイッチ間のハンドシェイク メッセージをデバッグします。
region	スイッチ プロセッサ (SP) とルート プロセッサ (RP) 間のリージョン同期をデバッグします。
roles	MSTP のロールをデバッグします。
sanity_check	受信した BPDU の健全性確認メッセージをデバッグします。
sync	ポート同期イベントをデバッグします。
tc	トポロジ変更通知イベントをデバッグします。
timers	開始、停止、および期限切れイベントの MSTP タイマーをデバッグします。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree mstp コマンドは、**no debug spanning-tree mstp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree switch

スパニング ツリー プロトコル (STP) ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のソフトウェア インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug spanning-tree switch** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree switch {all | errors | flush | general | helper | pm | rx {decode | errors |
interrupt | process} | state | tx [decode] | uplinkfast}
```

```
no debug spanning-tree switch {all | errors | flush | general | helper | pm | rx {decode | errors |
interrupt | process} | state | tx [decode] | uplinkfast}
```

構文の説明

all	すべてのスパニングツリー スイッチのデバッグ メッセージを表示します。
errors	スパニングツリー ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のインターフェイスに関するデバッグ メッセージを表示します。
flush	シム フラッシュ動作に関するデバッグ メッセージを表示します。
general	一般イベント デバッグ メッセージを表示します。
helper	スパニングツリー ヘルパー タスク デバッグ メッセージを表示します。ヘルパー タスクは大容量スパニングツリー更新を処理します。
pm	ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
rx	受信したブリッジ プロトコル データ ユニット (BPDU) 処理のデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • decode : デコード済み受信パケットを表示します。 • errors : 受信エラー デバッグ メッセージを表示します。 • interrupt : 割り込みサービス要求 (ISR) デバッグ メッセージを表示します。 • process : 処理受信 BPDU デバッグ メッセージを表示します。
state	スパニングツリー ポート ステート変更デバッグ メッセージを表示します。
tx [decode]	送信された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • decode : (任意) デコードされた送信パケットを表示します。
uplinkfast	UplinkFast パケット送信デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree switch コマンドは、**no debug spanning-tree switch** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree uplinkfast

スパニングツリー UplinkFast イベントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug spanning-tree uplinkfast** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree uplinkfast [exceptions]

no debug spanning-tree uplinkfast [exceptions]

構文の説明

exceptions (任意) スパニングツリー UplinkFast 例外デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug spanning-tree uplinkfast コマンドは、**no debug spanning-tree uplinkfast** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show spanning-tree	スパニングツリー ステータス情報を表示します。

debug sw-vlan

VLAN マネージャ アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug sw-vlan** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management | mapping |
notification | packets | redundancy | registries | vtp}
```

```
no debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management | mapping
| notification | packets | redundancy | registries | vtp}
```

構文の説明

badpmcookies	不良ポート マネージャ クッキーの VLAN マネージャ インシデントに関するデバッグ メッセージを表示します。
cfg-vlan {bootup cli}	config-vlan デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> bootup : スイッチがブートアップするときにメッセージを表示します。 cli : コマンドライン インターフェイス (CLI) が config-vlan モードである場合のメッセージを表示します。
events	VLAN マネージャ イベントのデバッグ メッセージを表示します。
ifs	debug sw-vlan ifs コマンドを参照してください。
management	内部 VLAN の VLAN マネージャ管理のデバッグ メッセージを表示します。
mapping	VLAN マッピングのデバッグ メッセージを表示します。
notification	debug sw-vlan notification コマンドを参照してください。
packets	パケット処理およびカプセル化プロセスのデバッグ メッセージを表示します。
redundancy	VTP VLAN 冗長性のデバッグ メッセージを表示します。
registries	VLAN マネージャ レジストリのデバッグ メッセージを表示します。
vtp	debug sw-vlan vtp コマンドを参照してください。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan コマンドは、**no debug sw-vlan** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show vlan</code>	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。
<code>show vtp</code>	VTP 管理ドメイン、ステータス、およびカウンタに関する一般情報を表示します。

debug sw-vlan ifs

VLAN マネージャ Cisco IOS File System (IFS) エラー テストのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug sw-vlan ifs** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

```
no debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

構文の説明

open {read write}	VLAN マネージャ IFS ファイルオープン操作デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> read : VLAN マネージャ IFS ファイル読み取り動作のデバッグ メッセージを表示します。 write : VLAN マネージャ IFS ファイル書き込み操作デバッグ メッセージを表示します。
read {1 2 3 4}	指定されたエラー テスト (1、2、3、または 4) に関するファイル読み取り動作のデバッグ メッセージを表示します。
write	ファイル書き込み動作のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan ifs コマンドは、**no debug sw-vlan ifs** コマンドと同じです。

ファイルの読み取り処理に処理 **1** を選択すると、ヘッダー検証ワードおよびファイル バージョン番号が格納されたファイル ヘッダーが読み込まれます。処理 **2** を指定すると、ドメインおよび VLAN 情報の大部分が格納されたファイル本体が読み取られます。処理 **3** を指定すると、Type Length Version (TLV) 記述子構造が読み取られます。処理 **4** を指定すると、TLV データが読み取られます。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan notification

スイッチ間リンク (ISL) VLAN ID のアクティブ化および非アクティブ化のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug sw-vlan notification** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan notification {accfwdchange | allowedvlanfgchange | fwdchange | linkchange |
modechange | pruningcfgchange | statechange}
```

```
no debug sw-vlan notification {accfwdchange | allowedvlanfgchange | fwdchange |
linkchange | modechange | pruningcfgchange | statechange}
```

構文の説明

accfwdchange	集約アクセス インターフェイス スパニングツリー転送変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
allowedvlanfgchange	許可 VLAN の設定変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
fwdchange	スパニングツリー転送変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
linkchange	インターフェイス リンクステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
modechange	インターフェイス モード変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
pruningcfgchange	プルーニング設定変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
statechange	インターフェイス ステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan notification コマンドは、**no debug sw-vlan notification** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan vtp

VLAN トランッキング プロトコル (VTP) コードのデバッグをイネーブルにするには、EXEC モードで **debug sw-vlan vtp** 特権コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan vtp {events | packets | pruning [packets | xmit] | redundancy | xmit}
```

```
no debug sw-vlan vtp {events | packets | pruning | redundancy | xmit}
```

構文の説明	
events	汎用の論理フローのデバッグ メッセージおよび VTP コード内の VTP_LOG_RUNTIME マクロによって生成された VTP メッセージの詳細を表示します。
packets	Cisco IOS VTP プラットフォーム依存層から VTP コードに渡されたすべての着信 VTP パケット (プルーニング パケットを除く) の内容のデバッグ メッセージを表示します。
pruning [packets xmit]	VTP コードのプルーニング セグメントによって生成されるデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • packets: (任意) Cisco IOS VTP プラットフォーム依存層から VTP コードに渡されたすべての着信 VTP プルーニング パケットの内容のデバッグ メッセージを表示します。 • xmit: (任意) VTP コードが Cisco IOS VTP プラットフォーム依存層に送信するように要求したすべての発信 VTP パケットの内容のデバッグ メッセージを表示します。
redundancy	VTP 冗長性のデバッグ メッセージを表示します。
xmit	VTP コードが Cisco IOS VTP プラットフォーム依存層に送信するように要求したすべての発信 VTP パケット (プルーニング パケットを除く) の内容のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン **undebug sw-vlan vtp** コマンドは、**no debug sw-vlan vtp** コマンドと同じです。

pruning キーワードの後にパラメータを指定しない場合は、VTP プルーニング デバッグ メッセージが表示されます。これらのメッセージは、VTP プルーニング コード内の VTP_PRUNING_LOG_NOTICE、VTP_PRUNING_LOG_INFO、VTP_PRUNING_LOG_DEBUG、VTP_PRUNING_LOG_ALERT、および VTP_PRUNING_LOG_WARNING マクロによって生成されます。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
<code>show vtp</code>	VTP 管理ドメイン、ステータス、およびカウンタに関する一般情報を表示します。

debug uddl

単方向リンク検出 (UDLD) 機能のデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug uddl** コマンドを使用します。UDLD デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug uddl {events | packets | registries}
```

```
no debug uddl {events | packets | registries}
```

構文の説明

events	UDLD プロセス イベントが発生したときのデバッグ メッセージを表示します。
packets	UDLD プロセスがパケット キューからパケットを受信し、UDLD プロトコル コードの要求に応答してそれらを送信するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。
registries	UDLD プロセスが UDLD プロセスに依存するモジュールおよびその他のフィーチャ モジュールからのレジストリ コールを処理するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebug uddl コマンドは、**no debug uddl** コマンドと同じです。

debug uddl events を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 一般的な UDLD プログラム論理フロー
- ステート マシンのステート変更
- **error-disable** ステートの設定および消去のプログラム アクション
- ネイバー キャッシュの追加および削除
- コンフィギュレーション コマンドの処理
- リンクアップおよびリンクダウン通知処理

debug uddl packets を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 着信パケット受信時の一般的なパケット処理プログラム フロー
- 受信したパケットをパケット受信コードで調べるときの、各パケットの内容の識別情報 (Type Length Version (TLV) など)
- パケット送信の試行内容およびその成果

debug uddl registries を入力すると、次に示すカテゴリのデバッグ メッセージが表示されます。

- サブブロックの作成

- ファイバポート ステータスの変更
- ポート マネージャ ソフトウェアからのステート変更通知情報
- MAC アドレス レジストリ コール

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。
show udd	すべてのポートまたは指定されたポートの UDD の管理ステータスおよび動作ステータスを表示します。

debug vqpc

VLAN Query Protocol (VQP) クライアントのデバッグをイネーブルにするには、特権 EXEC モードで **debug vqpc** コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug vqpc [all | cli | events | learn | packet]
```

```
no debug vqpc [all | cli | events | learn | packet]
```

構文の説明

all	(任意) VQP クライアント デバッグ メッセージを表示します。
cli	(任意) VQP クライアント コマンドライン インターフェイス (CLI) デバッグ メッセージを表示します。
events	(任意) VQP クライアント イベント デバッグ メッセージを表示します。
learn	(任意) VQP クライアント アドレス学習デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) VQP クライアント パケット情報デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)EY	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

undebg vqpc コマンドは、**no debug vqpc** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。構文情報については、『 <i>Cisco IOS Software Command Reference, Release 15.0</i> 』を参照してください。